

# わだいの



▲発送作業の様子

## かねやき菜時宅配便 本渡

### ふるさとの新鮮な食材がてんこもり！

下浦町・金焼地区の住民などで組織する“かねやき生き活き源気隊”では、地元産の新鮮な食材を都会に住む人たちに送る、「かねやき菜時宅配便」を始めました。これは同隊が、安心・安全なふるさとの味を堪能してもらうとともに、地区の活性化にもつなげようと企画したもの。6月18日には、事前に申し込みがあった関東・関西方面などに住む11軒に、キャベツやキュウリ、大根のほか、刺し身や漬け物、ゼリーなどを発送。今後は、年に4回四季折々の食材が届けられる予定です。同隊代表の吉田スエカさんは、「皆さんに、ふるさとを思い出していただければうれしいですね」と話していました。



▶新鮮な食材を満載した箱に手にする同隊の皆さん

## 倉岳保育所“七夕会” 倉岳

### 5色の短冊に願いを込めて

7月7日、倉岳保育所で「七夕会」が行われました。この日園児たちは、職場体験で実習していた倉岳中学校の生徒といっしょに七夕の歌を歌いながら踊ったり、保育所職員による「おりひめとひこぼし」のペープサート（紙人形劇）を鑑賞したりして、七夕の日を満喫。その後、参加者全員で5色の短冊に願いごとを書き、折り紙でつくった花飾りや天の川などとともに、笹の葉に飾りつけました。園児は、「ねがいがかなうといいね」と笑顔で話していました。



▲きれいに彩られた七夕飾りと園児たち



▲“ふるさと”を合唱する参加団体の皆さん

## 有明ハーモニーコール・25周年記念コンサート 有明

### 歌い続けて25周年

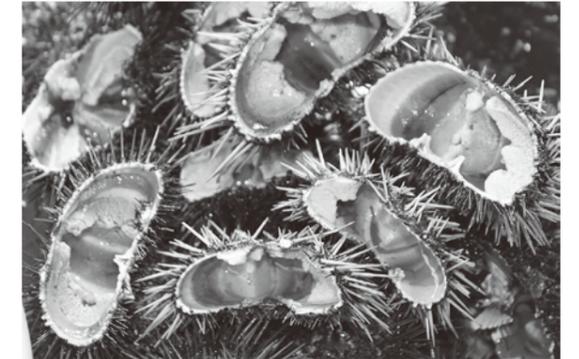
地元の合唱団・有明ハーモニーコール（会員11人）の結成25周年記念コンサートが6月26日、同団のほか市内の合唱団も参加して上津浦公民館で開かれました。この日、会場には約100人が詰めかけ満員の中、同団による“汽車ポッポ”や“大浦の子守歌”などが披露されたほか、出演者全員で“ふるさと”を合唱。観客は、会場内に響く美しい歌声に聞き入ったり、手拍子を打って演奏を盛り上げたりするなど大盛況。歌唱者と観客が一体となったすばらしいコンサートでした。

## アカウニ漁が始まる 五和

### 素潜り漁師自慢のウニをぜひ！

7月2日、二江地区で夏の風物詩、素潜りによるアカウニ漁が始まりました。アカウニは地元で“ほたうに”とも言われ、春にとれるムラサキウニと比べて身が大きく、味も濃厚なのが特徴。クロメなどの海藻を食べた二江産は市場でも人気で、熊本方面を中心に関東、関西へも出荷されています。この日は約35kgのアカウニが水揚げされ、地元の漁師たちはとれたばかりのアカウニの身をていねいに取り出していました。同地区の漁師・中元公広さんは、「夏にしか食べられない“ほたうに”を、もっとたくさんの人に知ってほしい」と話していました。

なお、アカウニ漁は9月末まで行われます。



▲大粒の身が入ったアカウニ



▲殻から身を取り出す作業を行う漁師たち



▲展示された化石を熱心に見入る家族連れ

## 御所浦白亜紀資料館企画展 御所浦

### 夏休みは御所浦へ！

御所浦白亜紀資料館では、8月31日まで企画展「北と南のアンモナイト展」を開催しています。同展では、北海道と天草のアンモナイトの化石を中心に、ティラノサウルスやトリケラトプスの複製頭骨、アロサウルス等の復元模型などのほか、恐竜絵画コンテストの入賞・佳作作品も展示中です。また、天草御所浦ジオパーク一周クルージングや化石採集体験、夏休み化石セミナーなども実施しています。皆さん、ぜひお越しください。詳細は、御所浦白亜紀資料館☎0967-2325へお尋ねください。

## はまぼう観察会 新和

### 黄色の美しい花を満喫

大宮地・小宮地地区にまたがって広がる日本最大級のはまぼう群生地が7月10日、「はまぼう観察会」が開かれました。これは、新和支所と新和まちづくり協議会が昨年からは実施しているもの。この日は晴天に恵まれ、市内外から約150人が参加。今回は、はまぼうの研究で有名な長崎大学・中西教授の説明を聞きながら観察するコースと、手こぎボートに乗って流合川からはまぼうを眺めるコースを設定。参加者は、それぞれのコースに分かれて、黄色に美しく咲き誇る花を楽しんでいました。



▲手こぎボートからはまぼうを眺める参加者